

press release



ブータン

日本・ブータン外交関係樹立30周年記念

The Bhutan Exhibition - A Hint to Happiness

しあわせに生きるためのヒント

会期 平成29(2017)年
11月2日(木)～12月24日(日)
会期中無休

開館時間 9:00～17:00
※金曜日は19:00まで、入場は閉館の30分前まで
※11月2日(木)は10:00開場

料金

一般	1,300円	(1,100円)
高・大学生	900円	(700円)
小・中学生	600円	(400円)
一般ペア	2,000円	(電子チケットを除く前売限定販売)

9月2日より前売販売開始!



- JR広島駅より約1km ●広島城より約400m
- 市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線で「縮景園前」下車20m
- ひろしまめいぶる〜ぶ(市内循環バス、JR広島駅新幹線口のりば発着)「県立美術館前」下車(白島線沿い)



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

【開催趣旨】

GNH(国民総幸福量)を提唱する「幸せの国」として注目を集めるブータン王国は、人口75万人ほどの小さな王国で、インドや中国に挟まれたヒマラヤ山脈の南に位置する。本展では、日本・ブータン外交関係樹立30周年を記念して、ブータン王国から出品される作品約140点(すべてが日本初公開)を展示。ブータンの伝統や文化、世界観や価値観をヒントに、私たちもより幸せに、より心穏やかに生きようというメッセージを伝える。

【展覧会の構成】

1章 ブータンの生活様式

世界で最も小さな国のひとつであるブータンには、特筆すべき文化的多様性と豊かさがあり、何世紀にもわたって現在まで受け継がれている。とりわけ、17世紀に確立したゾリグ・チュサムという概念は、絵画や塑像、鑄造、刺繍、織物、彫金、鍛金など、13の工芸技術を分類しており、文化遺産の形成に重要な役割を果たしてきた。ここでは、日用品や刀、装身具のほか、特色ある手織物の数々を通じて、ブータン人の生活を多面的に紹介する。



女性用衣装 キラ
(20世紀後半／ブータン王立テキスタイルアカデミー)

2章 ブータン仏教と信仰

ブータンの歴史叙述は、7世紀におけるチベット仏教の伝来と共に始まる。その後、「雷龍」を意味するドゥクパ・カギユ派の高僧シャブドゥン・ガワン・ナムギャルによって、はじめて全土を治める統一政権が誕生するのは17世紀のことである。自らを「ドゥク(龍)パ(人)」と称するブータン人にとって、仏像やタンカ(仏画)は祈りの対象であり、法具や経典、儀式楽器などは法要を執り行うのに欠かせないものである。ここでは、ブータン人の精神的価値を形にした宗教美術を紹介する。



ドルジェ・チャン坐像
(17世紀／ブータン王国国立博物館)

3章 愛されるブータン王室

ブータンでは、中世以来、各地の宮殿に織物工房が置かれてきた。初代国王の父の時代から熟練の織り手を抱える王室には、初代国王の儀式用帽子や王座カバー、天蓋をはじめとする優れた衣装や装飾品が伝わっている。また、女性王族たちによって、伝統的な染織産業の保護と発展が進められている。本展では、現国王・王妃が着用された衣装や、2011年に現国王が日本へ寄贈されたブータンシボリアゲハの標本も特別展示する(期間限定11月2日～11月8日)。



現国王・王妃の衣装

【媒体掲載用の画像提供について】

※いかなる場合も本プレスリリースからの転用はご遠慮ください。
※都合により出品作品が異なる場合がございます。ご了承ください。
※画像については提供が可能です。ご掲載の際に画像がご入り用の場合は、当館までお問い合わせください。
※画像掲載の際には、画像とテキストが掲載されたレイアウト原稿を事前に当館までご提出いただき、1週間程度お時間を頂戴いたします。ご了承ください。

【関連イベント】

講演会(共催: 広島県立美術館友の会)

「ブータンと50年」

日時: 11月5日(日) 13:30～15:00 (開場13:00)

講師: 西岡里子

会場: 地階講堂 ※聴講無料。申込不要。定員200名(先着順)

美術講座

①「マクロとミクロでみるブータンの工芸」

日時: 11月23日(木・祝) 13:30～15:00 (開場13:00)

講師: 福田浩子(当館学芸課長)

会場: 地階講堂 ※聴講無料。申込不要。定員200名(先着順)

②「ブータンの片面縫取織の秘密」

日時: 12月2日(土) 10:00～12:00 13:00～15:00

講師: 工藤いづみ(手織作家)

会場: 3階展示室内 ※申込不要。要入場券。 ※織物の実演・希望者体験あり

③「ブータンの民族衣装とヒマラヤの暮らし」

日時：12月16日(土) 13:30～15:00 (開場13:00)

講師：久保淳子(ヤクランド)

会場：地階講堂 ※聴講無料。申込不要。定員200名(先着順) ※民族衣装の着用実演あり

学芸員によるギャラリートーク

日時：11月3日、11月17日、12月1日、12月15日(金) 各日11:00～

：11月10日、11月24日、12月8日(金) 各日18:00～

※入館券をお求めの上、会場入口付近にお集まりください。

ウェブレポーター大募集

日時：11月3日(金・祝) 17:00～18:30

受付場所：3階ロビー 実施場所：3階企画展示室内

対象：ホームページ、ブログ、ツイッター、フェイスブックなどのSNSにて情報発信をされている一般の方

※申込不要 ※実施当日に限って本展にご招待します。

ワークショップ

「ほほえみの花」

日時：11月11日(土) 13:30～15:00 (開場13:00)

講師：松尾真由美(美術家)

会場：地階講堂

定員：先着20名、対象は小学生以上

※事前申込要。参加無料。 ※好きな花や植物の写真をお持ちください。(協力=公益財団法人泉美術館)

《アートディレクター》

アーティスト/イラストレーター：松尾たいこ

人気イラストレーターの松尾たいこが本展のアートディレクターに。

ブータンを訪問し描いた作品の一部も展示。展示会オリジナルグッズも。



《ナビゲーター・音声ガイド》

女優：鶴田真由

2008年と2016年の二度にわたりブータンを旅し、その魅力を存分に

知る鶴田真由が本展覧会をナビゲートします。



press release



【縮景園連携】

ワンコイン縮景園 本展入館券のご提示により、100円で縮景園にご入園いただけます。

【開催概要】

メインタイトル：ブータン しあわせに生きるためのヒント展

英語名：The Bhutan Exhibition: A Hint to Happiness

料金：一般 1,300(1,100)円 高・大学生900(700)円 小・中学生600(400)円

一般ペア 2,000(電子チケットを除く前売限定販売)

※()内は前売り・20名以上の団体料金

・学生券をお求めの際は学生証のご提示をお願いします。

・身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳及び戦傷病者手帳の所持者と介助者(1名まで)の当日料金は半額です。

前売券販売所：広島県立美術館、セブン・イレブン(セブンチケット)、ローソンチケット(Lコード 62880)、チケットぴあ(Pコード:768-435)、e+(イープラス)、広島市・呉市内の主なプレイガイド、画廊・画材店、ゆめタウン広島、中国新聞社読者広報部、中国新聞各販売所(取り寄せ)などで販売しています。

開催クレジット

主催：広島県立美術館、テレビ新広島、東映、中国新聞社

後援：外務省、ブータン王国内務文化省、ブータン政府観光局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、エフエムふくやま、尾道エフエム放送、FMIはつかいち76.1MHz、FM東広島89.7MHz、

特別協力：ブータン王国国立博物館、ブータン王立織物博物館、ブータン王立テキスタイルアカデミー

協力：一般財団法人進化生物学研究所、ブータン エアラインズ、BSフジ、Galaxy

協賛：  広島県信用組合

企画：フジテレビジョン、東映

問い合わせ先：広島県立美術館

〒730-0014 広島市中区上幟町2-22

TEL.082-221-6246 FAX.082-223-1444

E-mail m-kaminishis4677@pref.hiroshima.lg.jp (上西宛)

担当：学芸課 隅川 明宏 広報担当：総務課 上西 真由美 一色 直香